

科目名	国語	科目コード	30020
-----	----	-------	-------

学科名・学年	電子制御工学科・2年
担当教員	黒田 知子（一般教育科）
区分・単位数	履修単位科目・必履修・3単位
開講時期・時間数	通年 90 時間【内訳：講義 84，演習 0，実験 0，その他 6】
教科書	『展開国語総合』，桐原書店（1 年次からの継続使用。） 『展開現代文改訂版』 『高等学校古典(古文編)改訂版』 『高等学校古典(漢文編)改訂版』，いずれも桐原書店（以上の 3 冊は新規に使用。3 学年まで継続使用。）
補助教材	『新総合図説国語』，東京書籍 『形で覚える漢字の演習』，明治書院 （以上の 2 冊は、1 年次に購入済み。）
参考書	国語辞典・古語辞典・漢和辞典など

【A．科目の概要と関連性】

1 学年での学習を基礎に、現代文・古典の読解と国語表現の実践とを通して、総合的な思考力を含めた国語力の向上を目指す。1 年次よりやや高度な内容の教材を扱い、論理的思考力を鍛え、情操を深く豊かにし、伝え合う力を強化する。また、言語文化の諸相に触れることによって、自らの世界観を広く深くするとともに、言語生活を充実させる態度を身につける。

【B．到達目標と学習・教育目標との対応】

この科目は長岡高専の学習・教育目標の(A)(B)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、長岡高専の学習・教育目標との関連を以下の表に示す。

到達目標	評価の重み	学習・教育目標との関連
文章の叙述に即して内容を的確に読み取る力を身につける。	-	a1
さまざまな文章を読んで、ものの見方・感じ方・考え方を広げる。	-	a2・b1
常用漢字の読み方・書き方に習熟し、使いこなす力を身につける。	-	b2
基礎的な古文・漢文を的確に理解する。	-	a1・b1
国語表現の特質を理解し、表現する能力を身につける。	-	b2

【C．履修上の注意】

平生の予習・復習を欠かさないことが何よりも重要である。授業で扱う教材は、事前に必ず通読し、語句の読みや意味を調べておくこと。特に、古文・漢文については、音読の練習を欠かさないこと。また、辞書や参考書を積極的に活用し、進んで発展的な学習に取り組むこと。

【D．評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。50 点以上を合格とする。

定期試験（80％）【内訳：前期中間 20，前期末 20，後期中間 20，後期末 20】

その他（20％）

【E. 授業計画・内容】

前期

週	内容	備考
1	現代文（随想・評論）の読解（1）	
2	現代文（随想・評論）の読解（2）	
3	現代文（随想・評論）の読解（3）	
4	古文の読解・鑑賞（1）	
5	古文の読解・鑑賞（2）	
6	古文の読解・鑑賞（3）	
7	前期中間試験	試験時間：50分
8	現代文（小説）の読解（1）	
9	現代文（小説）の読解（2）	
10	現代文（小説）の読解（3）	
11	国語表現の実践（1）	
12	漢文の読解・鑑賞（1）	
13	漢文の読解・鑑賞（2）	
14	漢文の読解・鑑賞（3）	
-	前期末試験	試験時間：50分
15	試験解説と発展授業	

後期

週	内容	備考
1	現代文（随想・評論）の読解（4）	
2	現代文（随想・評論）の読解（5）	
3	現代文（随想・評論）の読解（6）	
4	古文の読解・鑑賞（4）	
5	古文の読解・鑑賞（5）	
6	古文の読解・鑑賞（6）	
7	後期中間試験	試験時間：50分
8	現代文（小説）の読解（4）	
9	現代文（小説）の読解（5）	
10	現代文（小説）の読解（6）	
11	国語表現の実践（2）	
12	漢文の読解・鑑賞（4）	
13	漢文の読解・鑑賞（5）	
14	漢文の読解・鑑賞（6）	
-	後期末試験	試験時間：50分
15	試験解説と発展授業	